

＋◆◇
エコ通勤メールマガジン 第 34 号(2026.10.16)

発行:エコ通勤優良事業所認証制度事務局
(国土交通省大臣官房参事官(交通産業)及び
公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団(エコモ財団))

＋◆◇

◇◆主な内容◆◇

●寄稿、取組み紹介

●エコモビ実践キャンペーン 2026 について【愛知県】

<https://www.pref.aichi.jp/kotsu/ecomobi/action/campaign2026.html>

●グリーン購入・＋(プラス)・エシカル キャンペーン【一般社団法人 滋賀グリーン活動ネットワーク】

<https://www.shigagpn.gr.jp/news/318>

◇◆目次◆◇ (クリックすると各記事のページにジャンプします。)

1. 寄稿 1(エコ通勤優良事業所認証制度認証事業所より)

「エコ通勤の取組を続けてきて」

【名張市役所地域環境部 環境対策室】

2. 現在の累計認証登録数

●エコ通勤優良事業所認証登録数

●うち長期継続認証事業所(満 10 年以上)

3. 新規認証登録事業所の取組み紹介

●2026 年 8 月 31 日付けで認証登録された事業所

●2026 年 9 月 30 日付けで認証登録された事業所

4. 長期継続認証事業所の紹介

●2026 年 8 月 31 日付けで長期継続認証された事業所

●2026 年 9 月 30 日付けで長期継続認証された事業所

5. ニュース／トピックス

●エコモビ実践キャンペーン 2026 について【愛知県】

●グリーン購入・＋(プラス)・エシカル キャンペーン【一般社団法人 滋賀グリーン活動ネットワーク】

●公共交通スマートチャレンジ月間【岩手県】

●令和 8 年度 さいたま市みんなののりものポスターコンクールを開催します！【さいたま市】

●10 月はノーマイカーデー重点実施月です【秋田市】

- 「令和8年度『交通空白』解消パイロット・プロジェクト(第2弾)」の事業採択について～「交通空白」解消は成長投資～【国土交通省】
- 令和8年度ノーカーデーの取組について【北海道】
- 令和8年度「『交通空白』解消等リ・デザイン全面展開プロジェクト」地域交通 DX 推進タイプ2次公募(第2次選定)の事業採択について～「交通空白」解消は成長投資～【国土交通省】
- 令和8年度「『交通空白』解消等リ・デザイン全面展開プロジェクト」3次公募の事業採択について～「交通空白」解消は成長投資～【国土交通省】
- 「交通・MaaS アプリ年代別利用動向レポート 2026」を公開【フラー株式会社】
- 「ノーマイカー月間」で「キャンパス MaaS」【琉球大学、八千代エンジニアリング株式会社】
- 「スマート通勤おかやま2026」を実施します！！【スマート通勤おかやま実行委員会】
- みんなで取り組もう！エコ通勤【いわき市平地区中心部渋滞対策】

6. イベント情報

7. その他



1. 寄稿1(エコ通勤優良事業所認証制度認証事業所より)

「エコ通勤の取組を続けてきて」

【名張市役所地域環境部 環境対策室】

名張市は、市域が山地に囲まれた盆地であり、平野部が狭く台地や丘陵地が広く分布しており、市内の移動や鉄道へのアクセスに自動車やバスが重要な役割を果たしています。

そうした中、名張市役所ではこれまで、地球温暖化防止・渋滞緩和・職員の健康づくりのために、率先して「エコ通勤」の取組を実施し、モビリティマネジメントの啓発に努めております。平成20年度から、地球温暖化防止活動の一環として、エコ通勤の取組を実施し、また、平成22年1月からは全職員を対象として毎月1回以上を目標に、自主的にエコ通勤に取り組んでまいりました。

この実績を評価いただき、平成22年から「エコ通勤優良事業所」として三重県内の自治体では唯一認証を受け、10年以上継続して「エコ通勤優良事業所認証制度」における登録を更新しております。

エコ通勤の取組方法として、徒歩や公共交通機関の利用促進はもちろん、自家用車の乗り合わせといった方法も取り入れており、環境保護活動だけでなく職員間のコミュニケーションのきっかけともなっております。

令和6年度からは取組のモチベーション向上と更なる推進を図るため、職員個別の取組から所属単位での取組への転換を目指し、所属毎の目標ポイント制を導入しました。実際の通勤手段の変更だけでなく、エコ通勤を実施した場合のカロリー消費量の試算や、公共交通機関を利用した場合のルート検索などを実施するだけでもポイントが加算される仕組みとし、目標を達成した各所属に対し、親睦会等から支援を受け、賞金を進呈しました。

また、近年では特定の1日を「エコ通勤デー」として指定し実施しておりましたが、昨今の勤務形態・家庭事情の多様化や休暇取得の促進の観点から、特定日では実施が難しいという声が上がっていたため、実施を「週間」として期間を設ける形式に変更しました。これにより指定日では実施が困難であった職員が、自身の都合に合わせ、取り組む日を自由に選択できることとなりました。

これらの取組により、参加率や排出CO₂削減量は、前年度より大きく上昇し、一定の効果をを得ることができました。

名張市役所のエコ通勤の取組が、市内の民間事業者の皆様にも広がり、地球温暖化防止・渋滞緩和・交通環境の改善につながるよう、引き続きより効果的な「エコ通勤」の実施に取り組んでまいります。

2. 現在の累計認証登録数

●エコ通勤優良事業所認証登録数

420 件 834 事業所(2026 年 9 月 30 日現在)

●うち長期継続認証事業所(満 10 年以上)

131 件 427 事業所(2026 年 9 月 30 日現在)

※件: 単独申請の事業所数と共同申請の代表事業所数を足しあわせた数

※事業所: 単独申請の事業所数と共同申請の全事業所数を足しあわせた数

●エコ通勤優良事業所認証登録事業所一覧(最新):

http://www.ecomo.or.jp/environment/ecommuters/data/ecommuters_sougou_ichiran.pdf

3. 新規認証登録事業所の取組み紹介



直近 3 ヶ月間に新規認証登録された事業所は、以下の通りです。

(都道府県別に北から順に、また都道府県内にあっては、登録番号順に記載しています。)

●2026 年 8 月 31 日付けで認証登録された事業所

【株式会社イクス】

□登録番号 23-0152

□愛知県岡崎市(中部運輸局)

□取組み内容の概要:

- ・パンフレットやメールの配付・掲示
- ・職住近接
- ・駐輪場の設置
- ・更衣室やシャワールームの設置

●2026 年 9 月 30 日付けで認証登録された事業所

【有限会社小川興業】

□登録番号 10-0007

□群馬県太田市(関東運輸局)

□取組み内容の概要:

- ・公共交通の情報を提供
- ・更衣室やシャワールームの設置

- ・自社所有のバスによる送迎

【株式会社秩父建設】

- ☐登録番号 10-0008
- ☐群馬県邑楽郡大泉町(関東運輸局)
- ☐取組み内容の概要:
 - ・パンフレットやメールの配付・掲示
 - ・自転車通勤者への補助制度の導入
 - ・駐輪場の設置

【株式会社アイシン 製品開発センターLBS 製品本部】

- ☐登録番号 23-0153
- ☐愛知県岡崎市(中部運輸局)
- ☐取組み内容の概要:
 - ・パンフレットやメールの配付・掲示 / ・時差出勤制度の導入
 - ・パークアンドライド制度 / ・駐輪場の設置
 - ・自社所有のバスによる送迎 / ・在宅勤務制度の導入

なお、既に認証・登録済みの事業所のうち、「エコ通勤取組み事例紹介」のご提出があった事業所、あるいは本メールマガジンで取組み内容の概要をご紹介します承認の得られた事業所は、以下のページでご紹介しております。取組みの参考情報として是非ご覧ください。

<http://www.ecomo.or.jp/environment/ecommuters/case.html>

4. 長期継続認証事業所の紹介

直近 3 ヶ月間に更新審査を終え、新たに長期継続認証された事業所は、以下の通りです。
(都道府県別に北から順に、また都道府県内にあっては、登録番号順に記載しています。)

●2026 年 8 月 31 日付けで長期継続認証された事業所

□新規認証登録から満 10 年を迎えた事業所

： 通常のロゴマークをブロンズ色で囲んだ「長期継続認証ロゴマーク
(満 10 年以上 20 年未満)」を使用できます。



登録番号	事業所名	市区町村	登録日
25-0025	近江鉄道株式会社	滋賀県彦根市	2016/4/28

●2026 年 9 月 30 日付けで長期継続認証された事業所

□新規認証登録から満 10 年を迎えた事業所

： 通常のロゴマークをブロンズ色で囲んだ「長期継続認証ロゴマーク
(満 10 年以上 20 年未満)」を使用できます。



登録番号	事業所名	市区町村	登録日
23-0022	昭和土建株式会社	愛知県一宮市	2016/9/30
24-0004	中部運輸局 三重運輸支局	三重県津市	2016/3/31
25-0026	滋賀県 甲賀土木事務所	滋賀県甲賀市	2016/8/31

5. ニュース／トピックス

●エコモビ実践キャンペーン 2026 について【愛知県】

愛知県では、クルマ(自家用車)と公共交通、自転車、徒歩などをかしこく使い分ける「エコ モビリティ ライフ」(エコモビ)の推進に取り組んでおり、「あいちエコモビリティライフ推進協議会」(会長:愛知県知事)を中心に、「エコモビ」の普及啓発を始めとした様々な取組を行っています。その一環として、県内の企業・団体等が期間中、エコ通勤を中心とした「エコモビ」に積極的に取り組む「エコモビ実践キャンペーン 2026」を実施しています！

<https://www.pref.aichi.jp/kotsu/ecomobi/action/campaign2026.html>

●グリーン購入・+（プラス）・エシカル キャンペーン【一般社団法人 滋賀グリーン活動ネットワーク】

滋賀グリーン活動ネットワーク(SGN)では、10 月 1 日～31 日にかけて、滋賀県及び県内全市町と連携して、人や社会・地域・環境に配慮した「グリーン購入」や「エシカル消費」などの持続可能な消費行動を定着させることを目的に「グリーン購入・+（プラス）・エシカル キャンペーン」を実施します。

<https://www.shigagpn.gr.jp/news/318>

●公共交通スマートチャレンジ月間【岩手県】

岩手県公共交通利用推進協議会(会長:岩手県知事)では、公共交通の利用推進及びCO₂の排出抑制を図るため、公共交通機関の積極的な利用や、車とのスマートな使い分けなどに挑戦する「公共交通スマートチャレンジ月間」を9 月 21 日から 10 月 31 日まで実施します。

<https://www.pref.iwate.jp/kendozukuri/koutsuu/koukyou/1023213.html>

●令和 8 年度 さいたま市みんなののりものポスターコンクールを開催します！【さいたま市】

さいたま市では、就学児～小学生を対象に「バス、電車、タクシー」の絵を自由に描いていただくポスターコンクールを通して、公共交通機関の魅力を再発見し、お子様、ご家庭の方、ご友人に興味を持っていただき、公共交通の利用促進を図るために実施しています。

<https://www.city.saitama.lg.jp/001/010/018/015/004/p130387.html>

●10 月はノーマイカーデー重点実施月です【秋田市】

秋田市では、渋滞緩和や温室効果ガス削減といった都市環境を改善する一歩として、毎月第 4 金曜日にノーマイカーデーを設定し、公共交通機関などを上手に活用した、自家用車に頼りすぎないライフスタイルを推奨しています。特に 10 月は重点実施月として、毎年官公庁を含む市内事業所にご参加いただき、実施に伴う参加者数や CO₂ 削減量などの効果を公表しております。

<https://www.city.akita.lg.jp/kurashi/kotsu/1007422/1008146/1007648.html>

●「令和8年度『交通空白』解消パイロット・プロジェクト(第2弾)」の事業採択について～「交通空白」解消は成長投資～【国土交通省】

国土交通省では、「『交通空白』解消・官民連携プラットフォーム」を設置し、官民関係者の幅広い連携をもとに、全国各地において「交通空白」の解消に向けた取組を進めています。この度、同プラットフォームの取組の一つである「令和8年度『交通空白』解消パイロット・プロジェクト(第2弾)」の公募を行い、5件の事業を採択しました。

<https://www.mlit.go.jp/report/press/content/002020184.pdf>

●令和8年度ノーカーデーの取組について【北海道】

北海道では、公共交通の利用を促進し、脱炭素型ライフスタイル・ビジネススタイルの普及に寄与することを目的として、9月18日(金)～10月31日(金)にノーカーデーを実施します。ノーカーデーの実施にあたっては、推進強化期間を定めて集中的に実施し、庁内をはじめ関係団体職員等へ通勤など外出時の公共交通の利用などを働きかけるとともに、交通事業者と連携した取組を実施することで、道内公共交通の需要拡大と利用定着を推進します。

<https://www.pref.hokkaido.lg.jp/ss/stk/269818.html>

●令和8年度「『交通空白』解消等リ・デザイン全面展開プロジェクト」地域交通 DX 推進タイプ2次公募(第2次選定)の事業採択について～「交通空白」解消は成長投資～【国土交通省】

国土交通省では、全国の「交通空白」の早期解消に向けた取組を後押しするため、事業者・事業種の連携・協働により複数のモビリティデータの統合及び活用や国の定める標準仕様に基づくシステム統合、標準業務モデルの導入など、デジタル技術を活用した高度サービスの実装を支援しています。本年度の2次公募については、第1次選定において全国から5事業を採択しており、この度の第2次選定では、新たに1事業を追加採択しました。

https://www.mlit.go.jp/report/press/sogo12_hh_000548.html

●令和8年度「『交通空白』解消等リ・デザイン全面展開プロジェクト」3次公募の事業採択について～「交通空白」解消は成長投資～【国土交通省】

国土交通省では、全国の「交通空白」の早期解消に向けた取組を後押しするため、令和8年度「『交通空白』解消等リ・デザイン全面展開プロジェクト」(「交通空白」解消タイプ、共同化・協業化促進タイプ、モビリティ人材・組織育成タイプ)の3次公募を行い、「『交通空白』解消タイプ」2件、「共同化・協業化促進タイプ」3件、「モビリティ人材・組織育成タイプ」26件の事業を採択しました。

https://www.mlit.go.jp/report/press/sogo12_hh_000545.html

●「交通・MaaS アプリ年代別利用動向レポート 2026」を公開【フラー株式会社】

フラー株式会社は、アプリ市場分析サービス「App Ape(アップ・エイプ)」に蓄積するデータをもとに、2025 年 1 月～2026 年 7 月の交通・MaaS アプリの利用動向を年代別に分析した「交通・MaaS アプリ年代別利用動向レポート 2026」を公開しました。分析の結果、交通・MaaS アプリの 1 ユーザーあたり月間利用時間は、2025 年 1 月と比較して 2026 年 7 月は 23.5%増加していることが分かりました。また、性別・年代別の前年同月比を見ると、すべての性別・年代で利用時間が増加しており、なかでも 10 代男性は 39.0%増と全世代の中で最も高い伸びを示しました。

<https://www.fuller-inc.com/news/202610-app-ape-generational-transportation-maas-app-marketreport-2026>

●「ノーマイカー月間」で「キャンパス MaaS」【琉球大学、八千代エンジニアリング株式会社】

琉球大学と八千代エンジニアリング株式会社は、琉球大学が定める「琉球大学ノーマイカー月間」(2026 年 11 月 1 日～11 月 30 日)において、下記のとおり「キャンパス MaaS※1」本格実装の第一弾をスタートいたします。

キャンパス MaaS を実現することで、マイカー利用の抑制と公共交通利用を促進し、琉球大学周辺における交通集中の緩和を目指してまいります。

<https://www.u-ryukyu.ac.jp/news/97889/>

●「スマート通勤おかやま2026」を実施します！！【スマート通勤おかやま実行委員会】

クルマから排出される CO2 の削減や、健康増進、朝夕の交通渋滞の緩和、クルマだけに頼らないまちづくりを進めるため、徒歩や自転車・公共交通機関等を利用した通勤や、時差出勤や通勤経路の変更などマイカーの使い方の工夫を推奨する「スマート通勤おかやま」に取り組んでおり、10月19日～10月30日で岡山県内の事業所・県民の皆さまにご参加いただき、県下一斉のスマート通勤を実施します。

https://www.cgr.mlit.go.jp/okakoku/news/files/20261001_kisyahappyou01.pdf

●みんなで取り組もう！エコ通勤【いわき市平地区中心部渋滞対策】

いわき市の平地区中心部では、多方面から交通が集中し、朝夕の通勤・帰宅時間帯に渋滞が発生しています。このことから、県内の慢性的な渋滞の緩和・解消を目指し、国・県・市の各道路管理者や福島県警察本部などで構成する「福島県渋滞対策連絡協議会」では、10 月 1 日～10 月 30 日の平日に平地区中心部の渋滞を緩和し、環境改善につなげる取り組みとして、エコ通勤を実施します。

<https://www.city.iwaki.lg.jp/www/contents/1726809120974/index.html>

6. イベント情報

※イベントの内容・開催日時が変更になる場合があります。最新の情報は主催者のホームページ等でご確認ください。

●地域脱炭素マッチングイベント

日時:2026 年 10 月 23 日(金)10:00～17:00

場所:ベルサール秋葉原

主催:環境省

https://www.env.go.jp/press/press_05098.html

●地下鉄フェスタ 2026

日時:2026 年 10 月 25 日(日)10:00～16:00

場所:橋本車両基地

主催:福岡市地下鉄

<https://subway.city.fukuoka.lg.jp/topics/detail.php?id=2332>

●第 33 回「鉄道の日」記念イベント

日時:2026 年 10 月 25 日(日)11:00～16:30

場所:オアシス21銀河の広場

主催:「鉄道の日」中部実行委員会

<https://www.tb.mlit.go.jp/chubu/tetsudou/tetsudounohi/index.html>

●人・みち・環境 インスパイアフォーラム from 広島

日時:2026 年 10 月 30 日(金)14:00～17:00

場所:おりづるタワー5 階会議室「凜」

主催:国土交通省道路局・中国地方整備局

<https://www.mlit.go.jp/report/press/content/002022762.pdf>

●第 33 回「鉄道の日」記念イベント YOKOHAMA トレインフェスティバル 2026

日時:2026 年 10 月 31 日(土)

場所:横浜新都市ビル 9 階「新都市ホール」

主催:「鉄道の日」関東実行委員会

<https://www.tb.mlit.go.jp/kanto/content/000377665.pdf>

●エコモビ実践セミナー

日時:2026 年 11 月 9 日(月)14:00～15:45

場所:愛知県自治センター12 階 会議室 E

主催:愛知県、あいちエコモビリティライフ推進協議会

<https://www.pref.aichi.jp/kotsu/ecomobi/action/seminar2026.html>

●万博鉄道まつり 2026 with 観光 EXPO

日時:2026 年 11 月 28 日(土)、29 日(日)9:30～16:00(予定)

場所:万博記念公園

主催:大阪モノレール(株)、大阪モノレールサービス(株)、大阪府、吹田市

<https://www.osaka-monorail.co.jp/info/detail/877>

●BEYOND SDGs エコプロ

日時:2026 年 12 月 2 日(水)～12 月 4 日(金)10:00～17:00

場所:東京ビッグサイト[東ホール]

主催:日本経済新聞社

<https://messe.nikkei.co.jp/sdgs/>

●ENEX2027 第 51 回地球環境とエネルギーの調和展

日時:2026 年 12 月 16 日(水)～12 月 18 日(金)10:00～17:00

場所:東京ビッグサイト

主催:一般財団法人省エネルギーセンター

<https://www.low-cf.jp/east/#>

7. その他

- 「グリーン経営認証」に関する情報は、専用ホームページへ

<https://www.green-m.jp>

- 総合的な交通体系を目指して総合交通メールマガジンを発行しています！【国土交通省】

https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/seisakutokatsu_soukou_tk_000005.html

- 交通環境学習(モビリティ・マネジメント教育)メールマガジンを発行しています！【エコモ財団】

<https://mm-education.jp/mailmagazine.html>

- 環境的に持続可能な交通(EST)メールマガジンを発行しています！【EST 普及推進委員会事務局(エコモ財団)】

<https://www.estfukyu.jp/mailmagazine/>

- グリーンスローモビリティに関する情報を掲載しています！【エコモ財団】

https://www.ecomo.or.jp/environment/gsm/gsm_top.html

- 「運輸・交通と環境」を発行しています！

(日本語版)【国土交通省監修・エコモ財団発行】

<https://www.ecomo.or.jp/environment/unyukotsutokankyau/index.html>

(英語版)【エコモ財団発行】

<https://www.ecomo.or.jp/english/tej.html>

- エコ通勤・職場モビリティ・マネジメントをはじめとするモビリティ・マネジメントについての各種情報を掲載しています！【一般社団法人日本モビリティ・マネジメント会議(JCOMM)】

<https://www.jcomm.or.jp/>

- 記事募集中！【事務局】

本メールマガジンへの掲載記事を募集中です。

エコ通勤あるいは職場モビリティ・マネジメント、さらにはそれらと広く関連するテーマ(地域公共交通活性化、徒歩、自転車、地域モビリティ確保など)での取り組みや話題、催し物の案内等を事務局までお寄せください。 → E-mail: ecommuters-news@ecomomo.or.jp (担当: 内藤)

発行: エコ通勤優良事業所認証制度事務局

(国土交通省総合政策局大臣官房参事官(交通産業)及び
公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団(エコモ財団))

エコ通勤ポータルサイト: https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/transport/sosei_transport_tk_000073.html

認証制度 HP: https://www.ecomo.or.jp/environment/ecommuters/ecommuters_top.html

<お問い合わせ先> エコ通勤優良事業所認証制度 事務局 メールマガジン配信担当

(公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団) 担当 内藤

E-mail: ecommuters-news@ecomomo.or.jp TEL: 03-5844-6268 FAX: 03-5844-6294

バックナンバー閲覧: <https://www.ecomo.or.jp/environment/ecommuters/mailmagazine.html>

※ 配信先の新規登録・変更希望の場合は、登録事業所名、配信先担当者の所属部署、役職、氏名、E-mail をお知らせください。ただし、対象は認証登録事業所です。